

平成 28 年度夏の交通事故防止県民運動実施要領

1 実施期間

平成 28 年 8 月 1 日(月)から 8 月 10 日(水)までの 10 日間

2 運動の趣旨

夏場を迎え、暑さや長距離運転による過労に起因する重大事故の発生や夏休みによる解放感から交通安全行動の低下が懸念されることから、交通ルールの遵守と交通マナーの実践により、交通事故防止の徹底を図る。

3 運動の重点

- ① 暑さなどによる過労運転の防止
- ② 夏休み中の子どもの交通事故防止
- ③ 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ④ 飲酒運転の根絶

4 スローガン

「もしもしは しません出ません 運転中」

5 推進事項

推進主体	推 進 事 項
家庭では	<ul style="list-style-type: none">○ 子供会行事や旅行など長距離運転が見込まれる際は、無理のない日程にし、適度な休憩をとるなどゆとりのある運転に努める。○ 自転車の安全利用や歩行者としての安全行動などを徹底するため、出かける家族への具体的な声掛けを実施するなど家族全員で注意し合う。○ 自動車乗車時は、後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用を徹底する。○ 飲酒運転の危険性について家族で話し合い、飲酒運転 4 (し) ない運動を実践する。
地域・職場では	<ul style="list-style-type: none">○ 体調管理を含めた安全運転管理を徹底し、特に、ぼんやり運転による事故が懸念される午後の時間帯の運転については、注意喚起を実施する。○ 歩行者・自転車を認めた場合や横断歩道の手前では、スピードダウンを徹底する。○ 交通安全教室や各種行事等の機会を捉え、後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの着用を徹底する。○ 飲酒運転を許さない環境をつくり、飲酒運転の根絶を徹底する。○ 従業員等に対する飲酒運転の危険性と反社会性についての指導を徹底する。
関係機関・団体では	<ul style="list-style-type: none">○ 過労運転や解放感からの無謀運転の防止について意識啓発に努める。○ 子供会行事を活用し、子どもや保護者に対する注意喚起を実施する。○ 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用について、周知徹底する。○ 各種の広報や行事を活用して飲酒運転の危険性や飲酒運転による交通事故の実態を周知するとともに、飲食店等でのハンドルキーパー運動を推進し、飲酒運転の根絶を図る。
運転者は	<ul style="list-style-type: none">○ 時間にゆとりを持って早めに出発するとともに、長距離を運転するときは無理のない運転計画で眠気を感じる前に休憩をとるなどリフレッシュし、過労運転を防止する。○ 高齢ドライバーは、身体機能の衰えによる運転技能の低下を自覚し、自己の運転技能に応じた無理のない運転を励行する。○ 夏休みで子ども達の外出の機会が増えることから、飛び出し等の危険を予測し、スピードを控えた防衛運転を徹底する。○ シートベルトを自ら正しく着用するとともに、全ての同乗者にシートベルト、チャイルドシートを正しく着用させる。○ 飲酒運転の危険性、違法性、責任の重大性を認識し、飲酒運転は絶対にしない。

飲酒運転 4 (し) ない運動

- 1 運転するなら酒を飲まない。
- 2 運転する人に酒を提供しない。
- 3 酒を飲んだ人に車を提供しない。
- 4 酒を飲んだ人の車に同乗しない。